

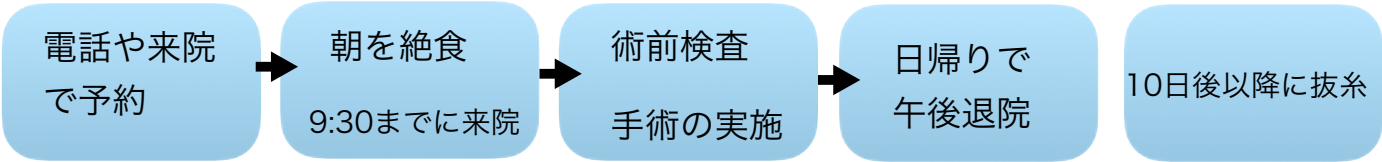
避妊手術（卵巣子宮摘出術）

- ・この手術を行う適期は、生後5、6ヶ月以降、永久歯が生えそろった頃です。
- ・初回発情の前に実施するのが最も良いとされています。
- ・予防接種が終了していることが必要です。

手術の実際

全身麻酔下での開腹手術により卵巣、子宮を摘出します。

避妊手術をすることにより、発情に伴う行動上の問題が少なくなり、妊娠の心配もなくなります。犬では発情出血がなくなります。さらに、中年以降にみられることが多い子宮蓄膿症などの卵巣子宮疾患がなくなります。早期にこの手術を行うと、乳腺腫瘍の発生率が低くなることも知られています。



避妊手術の欠点

- ・卵巣摘出により肥満傾向になることがあります。術後は食事管理が大切です。
- ・稀に女性ホルモン減少による尿失禁が起こることがあります。
- ・低い確率ですが、手術には、死亡を含め、様々な合併症の可能性があります。超小型犬、大型犬、短頭種はリスクが高くなります。

料金（税別）

手術費用の総額			追加料金が必要な場	
	補助がない場合	補助がある場合	体重	追加料金
犬	35,000円	別紙の金額を控除	2kg以下の超小型犬	8,000円
猫	29,000円	別紙の金額を控除	10kg以上の犬、短頭種	8,000円
豊明市、名古屋市の補助を利用できます			20kg以上の犬	15,000円
			30kg以上の犬	20,000円
			神経質、攻撃性等、処置の難易度が高い犬猫	5,000円～
乳歯抜歯	本数、難易度により		5,000～15,000円	
追加検査、処置	料金は内容により様々			
術後服、カラー	無償貸出あり			
臍ヘルニア修復	15,000円～			